2号機 PCV内部調査・試験的取り出し作業の準備状況

2024年3月28日

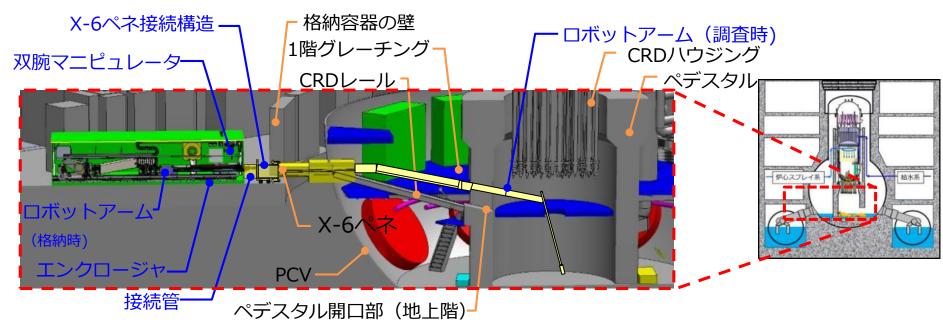


技術研究組合 国際廃炉研究開発機構 東京電力ホールディングス株式会社

1. PCV内部調査及び試験的取り出しの計画概要



- 2号機においては、PCV内部調査及び試験的取り出し作業の準備段階として、作業上の安全対策及び汚染拡大防止を目的として、今回使用する格納容器貫通孔(以下、X-6ペネ)に下記設備を設置する計画
 - X-6ペネハッチ開放にあたり、PCVとの隔離を行うための作業用の部屋(隔離部屋)
 - PCV内側と外側を隔離する機能を持つ X-6ペネ接続構造
 - 遮へい機能を持つ接続管
 - ロボットアームを内蔵する金属製の箱(以下、エンクロージャ)
- 上記設備を設置した後、アーム型装置をX-6ペネからPCV内に進入させ、PCV内障害物の除去作業を行いつつ、内部調査や試験的取り出しを進める計画



2号機 内部調査・試験的取り出しの計画概要

2-1. 2号機 燃料デブリの試験的取り出し装置の試験状況

TEPCO

性能確認試験項目

- 楢葉モックアップ施設を用いて、現場を模擬したモックアップ試験を実施中
- 現在、エンクロージャ内へアームの組み込みが完了し、双腕マニピュレータによるアームの強制引き抜き 試験やワンスルー試験を実施中。現地ではアームによる狭隘部へのアクセスを繰り返すため、ワンスルー 試験以降も現場適用に向けた位置精度やハード/ソフトの連係等の向上の観点で、引き続き、接触リスク の低減を図るべく制御プログラムを最適化していく
- また、ロボットアームの試験に加えて、実作業を模擬した手順、オペレータの操作性、装置の信頼性を踏まえて、実際の現場適用性について確認し開発を進めていく

性能確認試験項目

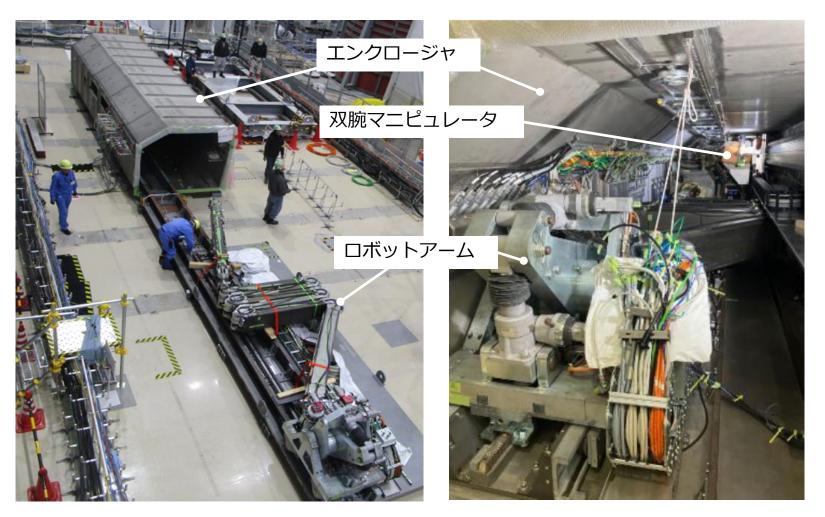
	今回報告
--	------

試験分類	試験項目	楢葉
ロボットアーム関連	X-6ペネの通過性 AWJによるX-6ペネ出口の障害物の撤去 各種動作確認(たわみ測定等)	完了 完了(作業効率化検討中) 完了
	PCV内部へのアクセス性 ・ペデスタル上部へのアクセス ・ペデスタル下部へのアクセス	完了
	PCV内部障害物の撤去 ・X-6ペネ通過後のPCV内障害物の切断	完了(作業効率化検討中)
双腕マニピュレータ関連	センサ・ツールとアームの接続	完了
	外部ケーブルのアームへの取付/取外し	完了
	センサ・ツールの搬入出	完了
	アーム固定治具の取外し	完了
	アームカメラ/照明の交換	完了
	エンクロージャのカメラの位置変更	完了
	アームの強制引き抜き	実施中
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	センサ/外部ケーブルのアームへの取付、ツール/外部ケーブルのアームへの取付	実施中
	アクセスルート構築(AWJツール搭載し、障害物撤去) ペデスタル上部調査(センサ、ワンド搭載)	今後実施
	ペデスタル下部調査(センサ、ワンド搭載)	

2-2. 2号機 燃料デブリの試験的取り出し装置の試験状況【ワンスルー試験】



- エンクロージャ内へアームの組み込みが完了
- 現在、エンクロージャ内での双腕マニピュレータの操作試験を実施中



エンクロージャへのロボットアーム組み込み状況

3. テレスコ式試験的取り出し装置のモックアップ状況



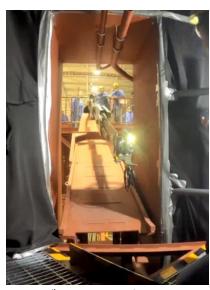
主要構成品について製造が完了し、メーカ工場にて現在モックアップ試験を実施中。



テレスコ式試験的取り出し装置(装置を上方から撮影)



ガイドパイプの挿入



<u>ペデスタル開口部への</u> 装置挿入



グレーチング開口部からの 先端治具吊り下ろし

4-1. 現場作業の進捗状況



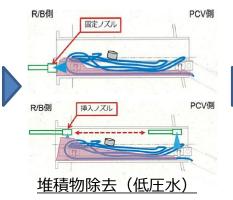
- X-6ペネ内堆積物除去作業は、PCVバウンダリとなる隔離部屋の中に堆積物除去装置を設置し、PCV内の気体が外部に漏れ出て周辺環境へ影響を与えないよう安全かつ慎重に作業を進める
- これまでの作業と同様に、PCV内の気体が外部に漏れ出て周辺環境へ影響を与えていないことを確認するため、作業中はダストモニタによるダスト測定を行い、作業中のダスト濃度を監視する



<u>堆積物除去装置</u> (低圧水)設置



スプレイ治具設置 ※X-53ペネに接続



※遠隔作業

ドーザツールによる堆積物の押し込み、 低圧水の噴射による堆積物の除去



<u>堆積物除去装置</u> <u>(低圧水) 撤去</u>

赤枠内:現在の状況 X-6ペネ内堆積物除去作業(高圧水・AWJ)実施中



<u>堆積物除去装置</u> (高圧水、AWJ)設置



<u>堆積物除去装置</u> (高圧水、AWJ)

※遠隔作業 ドーザツールによる堆積物の押し込み、 高圧水・AWJの噴射による堆積物の除去



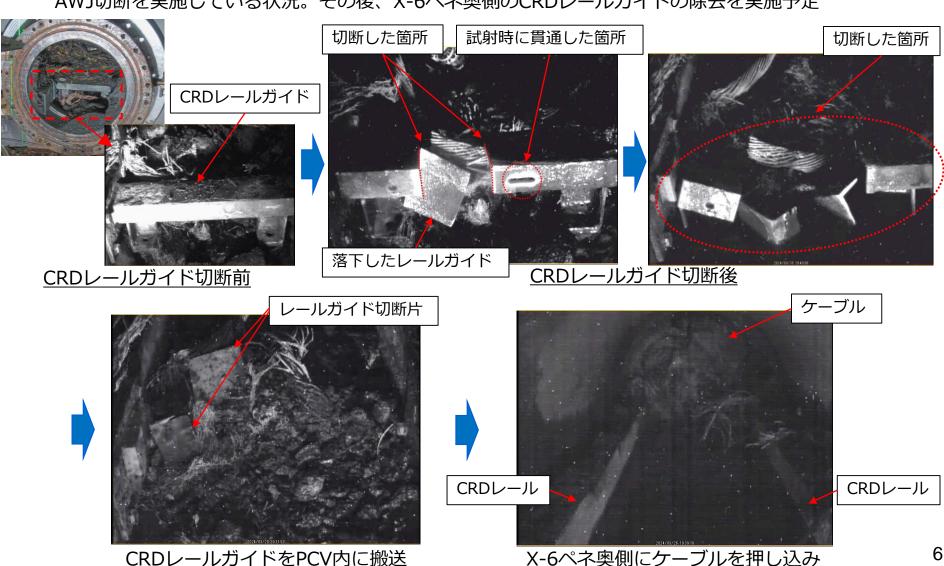
堆積物除去装置 <u>(高圧水、AWJ)撤去</u>

次工程へ X-6ペネ接続構造設置

4-2. 現場作業の進捗状況 (X-6ペネ内堆積物除去(高圧水・AWJ): AWJ施工)



• 3/18よりAWJ施工を開始し、X-6ペネ手前側のCRDレールガイドの除去を実施。3/22よりX-6ペネ奥側へケーブルの押し込みを実施しており、引き続き、ケーブルの押し込み及び押し込んだケーブルのAWJ切断を実施している状況。その後、X-6ペネ奥側のCRDレールガイドの除去を実施予定



5. 工程



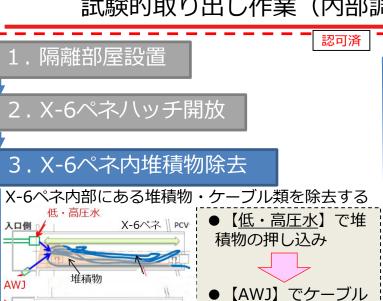
- 現場の状況については、AWJ施工による堆積物除去作業を開始し、X-6ペネ手前側のCRDレールガイドの切断を 実施。引き続き、高圧水/AWJによる堆積物除去作業を実施しているところ。
- 低圧水による除去作業結果及び高圧水/AWJによる作業の不確実性に加え、試験的取り出しに向けて、ロボットアームについては、モックアップ試験からアクセスルート構築に時間を要すること、また、事故炉の格納容器内で初めて使用するための信頼性を確認するべく今後も予定されている試験があること等を踏まえ、燃料デブリの性状把握のための燃料デブリの採取を早期・確実に行うべく、まず過去の内部調査で使用実績があり、堆積物が完全に除去しきれていなくても投入可能なテレスコ式の装置を活用し、燃料デブリの採取を行う。その後、ロボットアームによる内部調査及び燃料デブリの採取も行うべく、本試験的取り出しにおける取組を継続。
- ロボットアームによるアクセスルート構築作業に先立ち、テレスコ式の装置でPCV内の堆積物除去後の状態を確認することで、ロボットアーム作業の確実性が向上できると考えている。
- 試験的取り出しの着手時期としては、遅くとも2024年10月頃を見込む。
- 今後も堆積物除去作業、試験的取り出し作業について、安全確保を最優先に着実に作業を進めていく。

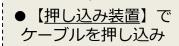
	2023年度	度 2024年度				2025年度
	第4Q	第1Q	第2Q	第3Q	第4Q	
 堆積物除去作業 		- ₁				
テレスコ式装置製作・設置準備等						
試験的取り出し作業 (テレスコ式装置によるデブリ採取)				r — ı — —		
ロボットアーム装置試験、 試験結果に応じた必要な追加開発				- ₁		
ロボットアーム設置準備等・ ロボットアームによるアクセスルート構築				<i>[]</i>		
ロボットアームによる内部調査・デブリ採取						

参考. 現地準備作業状況

試験的取り出し作業(内部調査・デブリ採取)の主なステップ







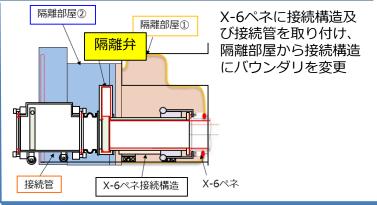
除去

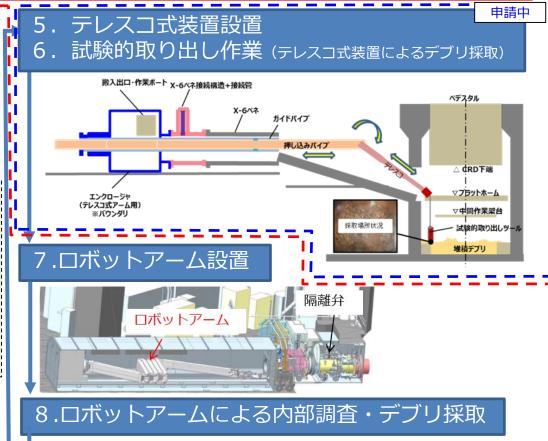
4. X-6ペネ接続構造及び接続管設置

AWJでケーブルを除去

押し込

み装置







②ロボットアームによるデブリ採取



(注記)

- ・隔離弁:PCV内/外を仕切るために設置した弁
- ・AWJ(アブレシブウォータージェット):

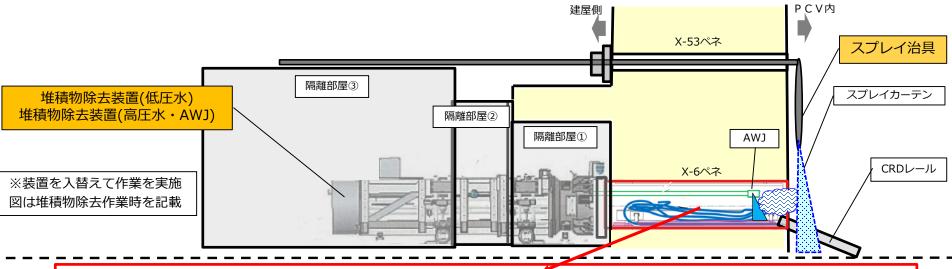
高圧水に研磨材(アブレシブ)を混合し、切削性を向上させた加工機

参考. 堆積物除去作業の概要



試験的取り出し作業用のアクセスルートを構築するため, 準備工事として以下の項目を実施予定。

- ▶ スプレイ治具によるPCV内のダスト飛散抑制
- ▶ 堆積物除去装置(低圧水・ドーザツール)を用いてX-6ペネ内の堆積物を除去
- ▶ 堆積物除去装置(高圧水・AWJ・ドーザツール)を用いてX-6ペネ内の堆積物を除去





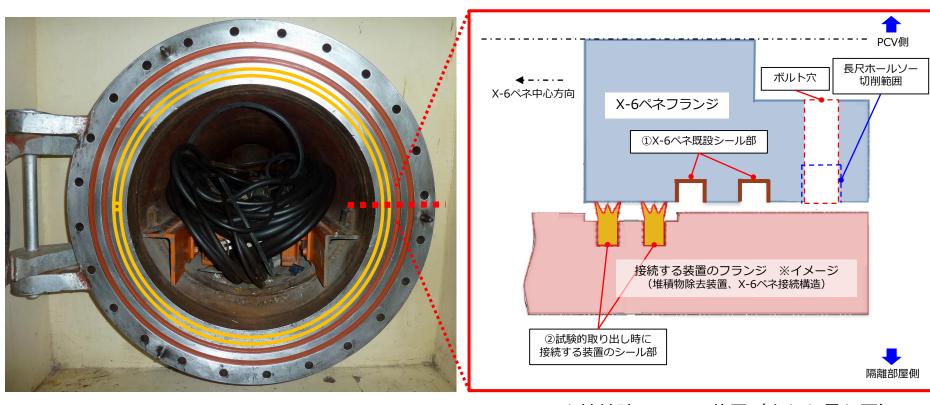




X-6ペネ内の状態(模擬)



・ハッチ開放後のフランジ面に堆積物除去装置、X6ペネ接続構造を接続



<u>震災前のX-6ペネハッチ(開放時)</u>

X-6ペネ接続時のシール位置(上から見た図)

:①X-6 :②試!

: ①X-6ペネ既設シール部

:②試験的取り出し時に接続する装置のシール部

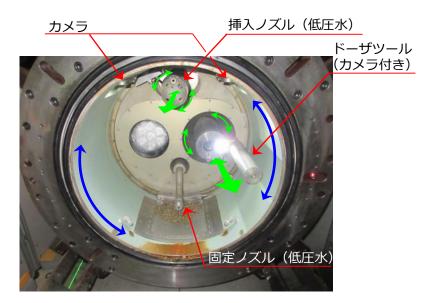
※堆積物除去装置、X-6ペネ接続構造

参考. 堆積物除去装置(低圧水/高圧水・AWJ)について





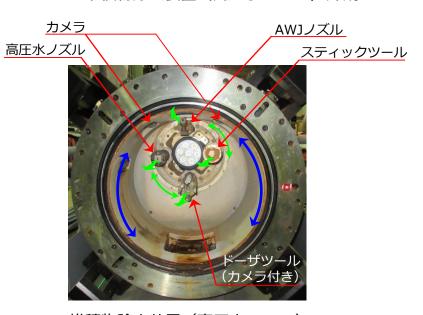
堆積物除去装置(低圧水)外観



堆積物除去装置(低圧水) X-6ペネ接続断面



堆積物除去装置(高圧水・AWJ)外観



堆積物除去装置(高圧水・AWJ) X-6ペネ接続断面

参考:環境への影響について(1/2)



- 2号機X-6ペネ内堆積物除去作業を1月10日から実施していますが、<mark>周囲への放射線影響は発</mark> 生していません。
- 調査においては格納容器内の気体が外部へ漏れないようバウンダリを構築して作業を実施しました。
- 作業前後でモニタリングポスト/ダストモニタのデータに有意な変動はありません。
- 敷地境界付近のモニタリングポスト/ダストモニタのデータはホームページで公表中です。 参考URL: https://www.tepco.co.jp/decommission/data/monitoring/monitoring_post/index-j.html https://www.tepco.co.jp/decommission/data/monitoring/dustmonitor/index-j.html



参考:環境への影響について(2/2)



- 2号機X-6ペネ内堆積物除去作業を1月10日から実施していますが、調査中のプラントパラメータについても常時監視しており、作業前後で格納容器温度に有意な変動はなく、冷温停止状態に変わりはありません。
- 原子炉格納容器内温度のデータはホームページで公表中です。

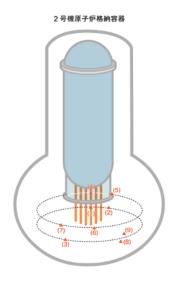
参考URL: https://www.tepco.co.jp/decommission/data/plant_data/unit2/pcv_index-j.html

(参考) ホームページのイメージ

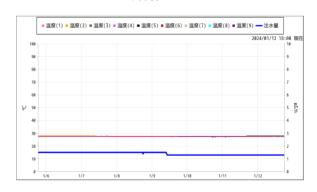
福島第一原子力発電所2号機 原子炉格納容器内温度計測状況

福島第一原子力発電所2号機の原子炉格納容器内温度の測定結果をお知らせいたします。

計測地点



計測グラフ



溫度単位: ℃、注水量単位: m³/h ○計測値 (2024/01/12 18:00)

温度(1)	温度(2)	温度(3)	温度(4)	温度(5)	温度(6)	温度(7)	温度(8)	温度(9)	注水量
27.5	27.8	27.9	27.7	27.4	27.3	27.2	-	-	1.3